

**グラフレポート活用⑫**  
**～ 進捗別月ごとの受注金額**  
**(予算線比較グラフ) 編～**

# アジェンダ

01 グラフレポート機能とは

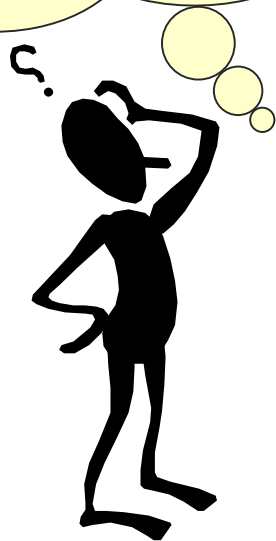
02 実際の作成方法

03 その他作成時の注意点

## このレポートで解決できる課題

### <営業マネージャーの悩み>

各月ごとの着地を見込みが確認できていないため、想定どおりに進んでいるのか、確認を行うことができない・・・



### <営業の声>

月ごとの見込みが確認できないため、目の前の案件しか見えてこない・・・



日々の報告をする中で必要な情報が更新されるため  
別に会議資料を作ることなく案件の把握が可能になります

# 01 グラフレポート機能とは

---

# グラフレポートについて

---

# 作成フロー概要

## 1 データソース

顧客名	案件名	進捗状況	日付	金額	部署名	社員氏名	社務
		予算	2014-04-09	3,000,000	営業1部	営業五郎	7
		予算	2014-06-01	1,000,000	営業1部	営業太郎	1
		予算	2014-07-01	1,000,000	営業1部	営業太郎	1
20130214株式会社	一般対応	選択なし					案件
BM商事株式会社	一般対応	8.受注	2014-07-31	300,000円	営業1部	営業太郎	1

帳票・グラフの元となるデータの固まり  
(データソース)を作成します

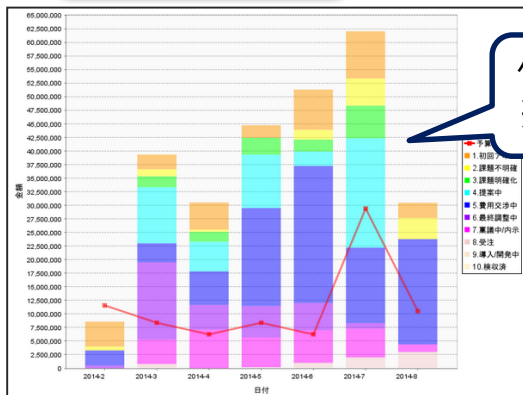
- ・使用するシートを選択します
- ・シートの中から使用する項目を選択します
- ・帳票での集計項目、抽出条件など  
全てを含めたものを作成します

## 2 帳票

	2014-1	2014-2	2014-3	2014-4	2014-5	2014-6	2014-7
予算	0円	0円	0円	3,000,000円	0円		
1.初回アポ	0円	0円	0円	0円			
2.課題不明確	0円	0円	0円	0円	0円		
3.課題明確化	0円	0円	0円	0円	0円		

作成したデータソースを元にクロス集計表を  
作成します

## 3 グラフレポート



作成したクロス集計表を元にグラフを作成します  
※前提としてクロス集計表で作成した帳票が必要です

※削除する場合は、作成手順と逆の手順で行います。  
それぞれ次のフローに進むと、変更・削除ができなくなります。

# データソース

---

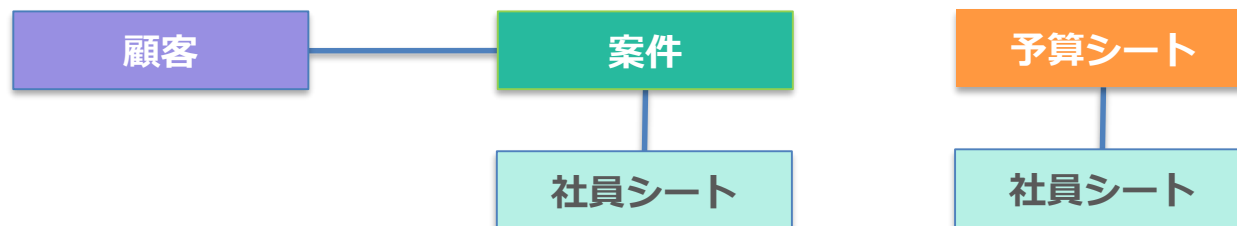
# シート・結合マップ・データソースの選択

データソースの作成元となる形式を選択します。  
作成元としては、下記の3パターンがあります。

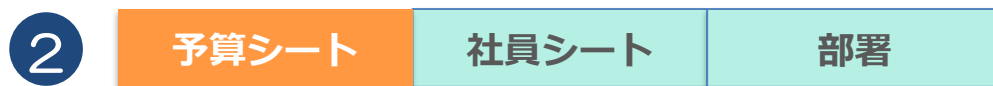
- 1 シート選択 ※シート単体からデータソースを作成します



- 2 結合マップ選択 ※複数シートを組み合わせてデータソースを作成します



- 3 データソース選択 ※複数データソースを組み合わせてデータソースを作成します

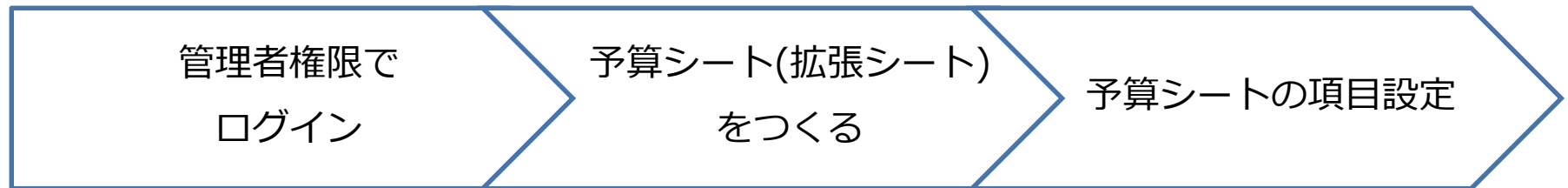




## 02 実際の作成方法

---

## 予算シートを作成



# 予算シート作成①

※設定には管理者での作業が必要です

管理者として環境にログインして、以下の手順で設定をしてください。

No.	名	シートタイプ	オブジェクト名	登録件数	順序
			customer	115	変更
			business	942	変更
			communication	5226	変更
			product	26	変更
5	名刺				
6	社員				
7	キャンペーン				
8	セミナー出欠席				

シート名: 予算シート (日本語)

他言語を表示

アイコン:  [Icon]  ファイルを選択 選択されていません

シート色: [Orange Swatch]

新規登録

## 予算シート作成②

※設定には管理者での作業が必要です

管理者として環境にログインして、以下の手順で設定をしてください。

作成した「予算シート」をクリックします

2,3,4,5ステップでそれぞれ項目を追加します  
項目設定の詳細はP13参照です

1

2

3

4

5

No.	項目名	識別子	タイプ	2列表示	PC版	携帯	必須	PC版	携帯版	順序
1	ID	id	文字	2列表示				使用可	使用可	
2	登録日		日時	2列表示				使用可	使用可	
3	登録者	regist_person		2列表示				使用可	使用可	
4	最終更新日		日時	2列表示				使用可	使用可	
5	最終更新者	modify_person		2列表示				使用可	使用可	

- セレクト (30/30)
- チェックボックス (30/30)
- 12 数値 (30/30)
- 1.2 小数 (30/30)
- 日付 (30/30)
- Aa 文字 (30/30)
- 文章 (30/30)
- ファイル (30/30)
- パラメータ付きリンク (30/30)
- タブ登録
- 区切り線
- 演算 (30/30)
- 紐付



# 予算シート作成③

※設定には管理者での作業が必要です

必要項目が追加されたのを確認し、変更をクリックして登録します。

2

変更

変更前に戻る

戻る

項目をドラッグアンドドロップしてください。

プレビュー

変更をクリックします

	2列表示...	PC版...	携帯...	必須...	PC版...	携帯版...	順序			
1	ID	id	文字	2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
2	登録日		日時	2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
3	登録者	regist_person		2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
4	最終更新日		日時	2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
5	最終更新者	modify_person		2列表示				使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
6	予算		セレクト		使用可	使用可		使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
7	社員名		社員紐付		使用可	使用可		使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
8	予算日付		日付	2列表示	使用可	使用可		使用可	使用可	<input type="checkbox"/>
9	予算金額	customize_integ	数値	2列表示	使用可	使用可		使用可	使用可	<input type="checkbox"/>

1

項目追加されたのを確認します

- セレクト (29/30)
- チェックボックス (30/30)
- 12 数値 (29/30)
- 1.2 小数 (30/30)
- 日付 (29/30)
- Aa 文字 (30/30)
- 文章 (30/30)
- ファイル (30/30)
- パラメータ付きリンク (30/30)
- タブ登録
- 区切り線
- 演算 (30/30)
- 紐付

# 予算シートへの権限付与

※設定には管理者での作業が必要です

作成した「予算シート」が、登録、編集、参照できるようにロール管理画面にて権限を付与します。

セールスマネージャー  
Remix

管理者 ヘルプ

検索

利用機能の制限

ホーム

シートの一覧と拡張

自社の設定

顧客の設定

営業プロセスの設定

アウトプットの設定

1 その他機能の設定

2 システムの設定

3 利用機能の制限

4

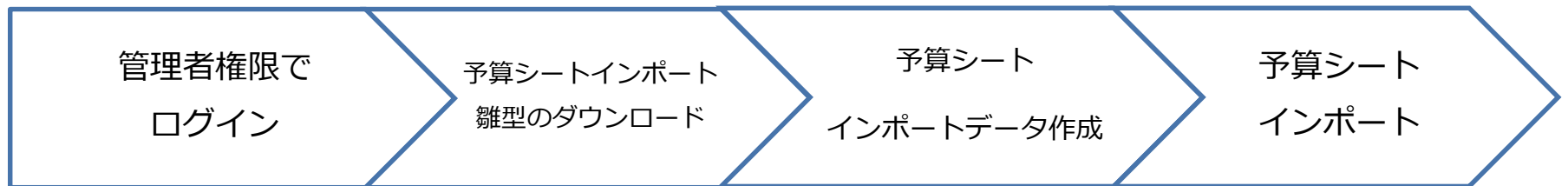
システムの設定を選択し、  
利用機能を制限をクリックします  
ロール編集をクリックします

ロールは1ユーザーに複数指定することもできます。  
※ユーザーには別途、機能を利用するためのライセンスを付与する必要があります。

ロール一覧にて、  
以下の権限をチェックします

ロール名	スタンダードライセンス	クラウドライセンス	算実績管理ライセンス	マップライセンス	アナライ
コメント					
<input type="checkbox"/> 予算シート編集					
予算シート登録					
予算シート変更					
予算シート削除					
<input type="checkbox"/> 予算シート参照					
予算シート参照					
予算シートリスト更新					

# 予算シートデータインポート





# 予算シートインポート① CSV雛型のダウンロード

管理者として環境にログインして、以下の手順で設定をしてください。  
予算シートインポート画面よりCSVファイル雛型を「ダウンロード」より取得します。

セールスマネージャー  
Remix

管理者 ヘルプ

検索

データのインポート

データのインポート 階層化メンテナンス データメンテナンス状況確認

インポート一覧

No.	シート名
1	顧客インポート
2	案件インポート
3	案件(商品情報項目)インポート
4	活動インポート
5	活動(商品情報項目)インポート
6	名刺インポート
7	商品インポート
8	社員インポート
9	キャンペーンインポート
10	セミナー出欠席インポート
11	納品情報インポート
12	予算シートインポート

データのインポート

データのインポート 階層化メンテナンス データメンテナンス状況確認

予算シートインポート

ファイル添付 マッピング確認 データ登録方法設定 シミュレーション設定 シミュレーション実行 インポート実行

1 インポートデータを作成してアップロードする

インポートするCSVファイルの雛型をダウンロードする

1 前回のインポート結果を修正して再度インポートする場合は、下記のリンクをクリックしてください。

前回のインポート結果を表示

設定したフォーマットに従ってデータを作成する

データの日付フォーマット 2001/01/31 または 2001-01-31

1 予算シートCSVファイルの作成手順については、こちらをご参照ください。

CSVファイルをアップロードする

文字コード MS932 (日本語)

↓ ここをクリックまたはファイルをドロップ

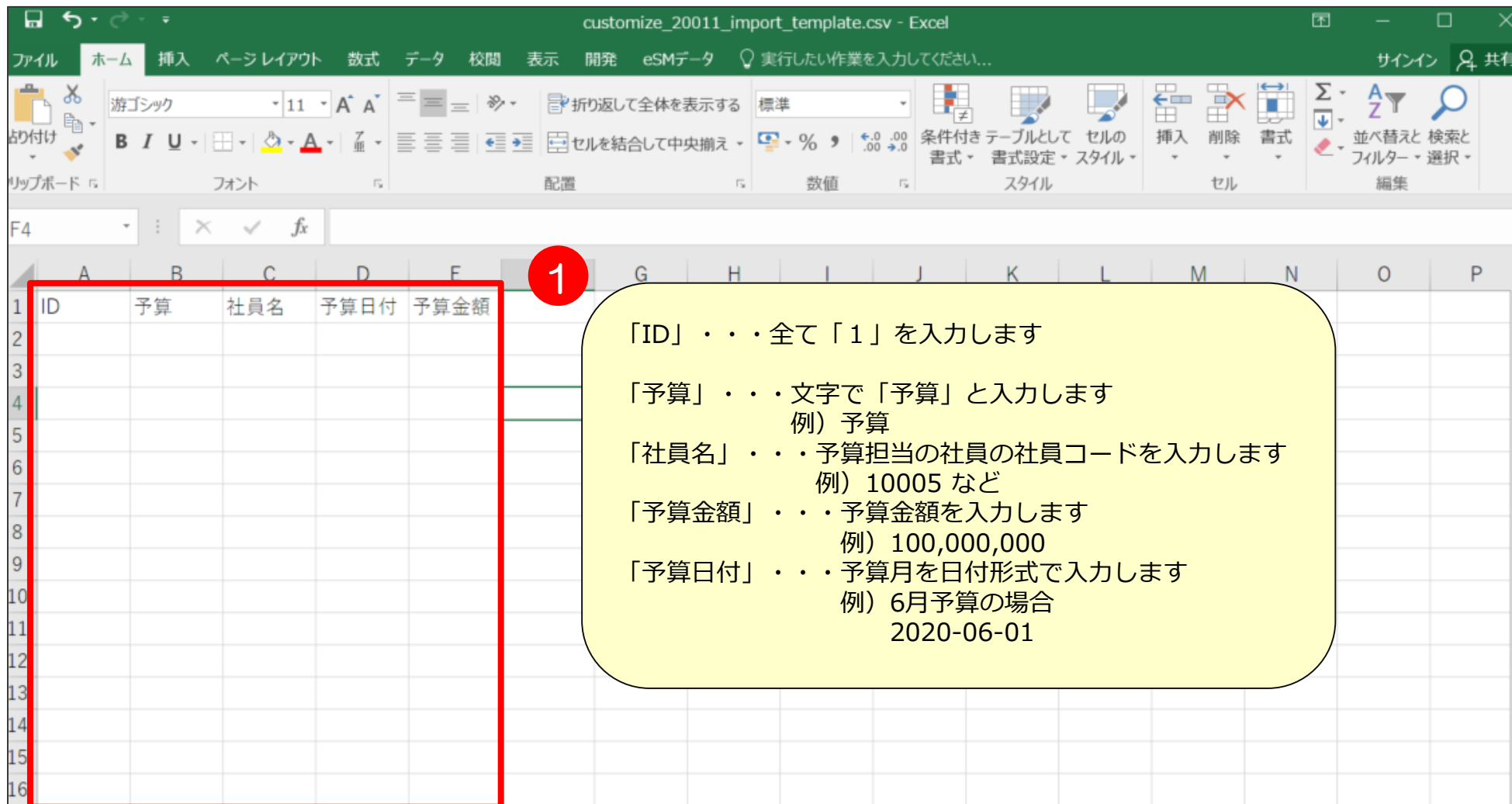
次へ

1 システムの設定を選択し、データのインポートをクリックします  
2 予算シートインポートをクリックします

4 ダウンロードをクリックします

# 予算シートインポート②インポート用データ作成

雛型ファイルを利用して、インポートファイルを作成し保存します。



1

「ID」・・・全て「1」を入力します

「予算」・・・文字で「予算」と入力します  
例) 予算

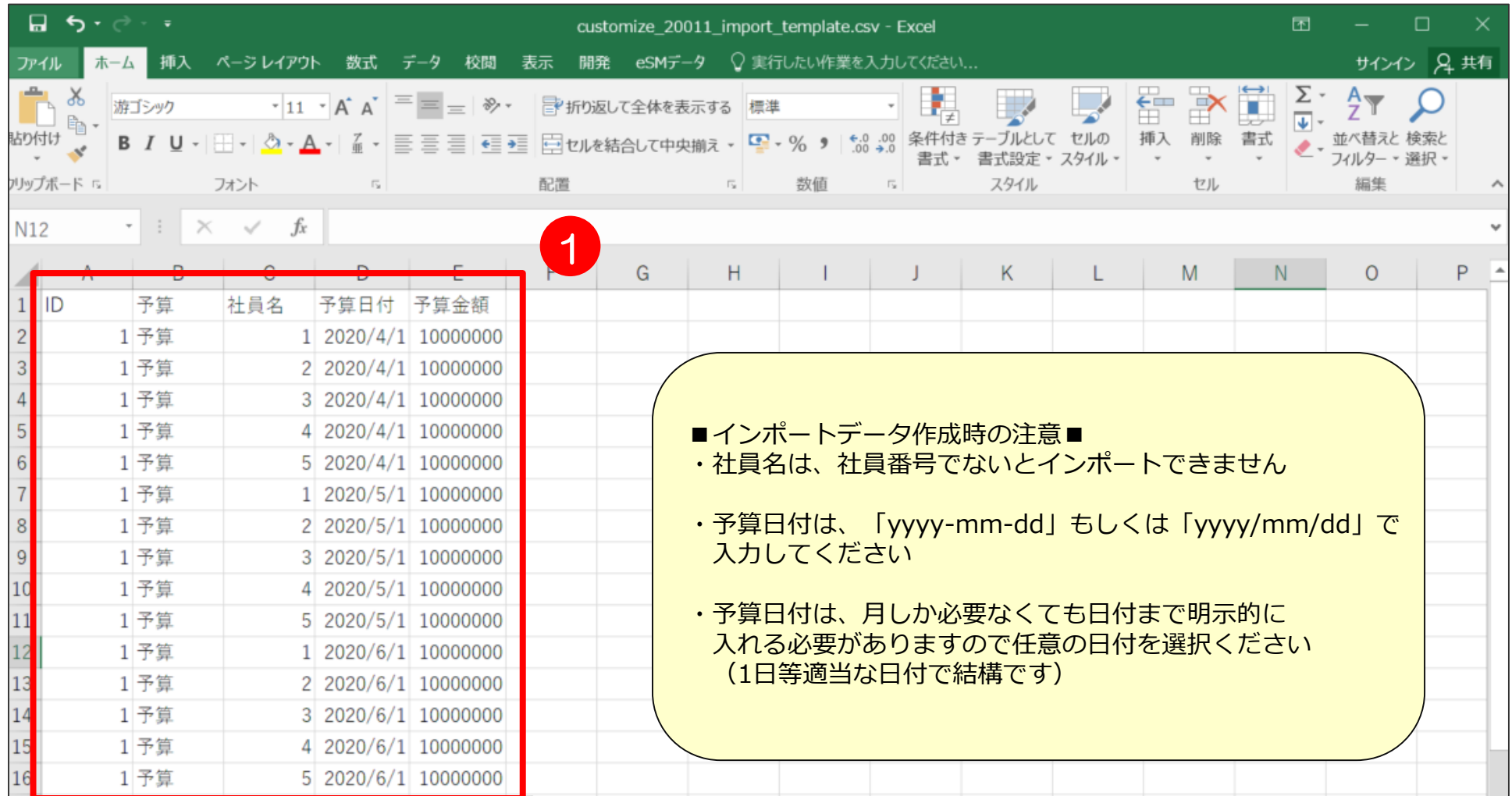
「社員名」・・・予算担当の社員の社員コードを入力します  
例) 10005 など

「予算金額」・・・予算金額を入力します  
例) 100,000,000

「予算日付」・・・予算月を日付形式で入力します  
例) 6月予算の場合  
2020-06-01

# 予算シートインポート③インポートデータ保存

雛型ファイルを利用して、インポートファイルを作成し保存します。



1

ID	予算	社員名	予算日付	予算金額
1	予算		2020/4/1	10000000
2	予算		2020/4/1	10000000
3	予算		2020/4/1	10000000
4	予算		2020/4/1	10000000
5	予算		2020/4/1	10000000
6	予算		2020/5/1	10000000
7	予算		2020/5/1	10000000
8	予算		2020/5/1	10000000
9	予算		2020/5/1	10000000
10	予算		2020/5/1	10000000
11	予算		2020/5/1	10000000
12	予算		2020/6/1	10000000
13	予算		2020/6/1	10000000
14	予算		2020/6/1	10000000
15	予算		2020/6/1	10000000
16	予算		2020/6/1	10000000

■ インポートデータ作成時の注意 ■

- ・社員名は、社員番号でないとインポートできません
- ・予算日付は、「yyyy-mm-dd」もしくは「yyyy/mm/dd」で入力してください
- ・予算日付は、月しか必要なくても日付まで明示的に入れる必要がありますので任意の日付を選択ください（1日等適当な日付で結構です）

# 予算シートインポート④インポートデータアップロード

作成したインポートファイルを「ここをクリックまたはファイルをドロップ」よりアップロードします。

セールスマネージャー  
Remix

管理者 ヘルプ

検索

データのインポート

データのインポート 階層化メンテナンス データメンテナンス状況確認

予算シートインポート

ファイル添付 マッピング確認 データ登録方法設定 シミュレーション設定 シミュレーション実行 インポート実行

1 インポートデータを作成してアップロードする

インポートするCSVファイルの雛形をダウンロードする

1 前回のインポート結果を修正して再度インポートする場合は、下のリンクをクリックしてください。

前回のインポート結果を表示

設定したフォーマットに従ってデータを作成する

データの日付フォーマット 2001/01/31 または 2001-01-31

1 予算シートインポートの注意事項を必ずご確認ください。

ここをクリックまたはファイルをドロップします

ここをクリックまたはファイルをドロップ

次へ

次へをクリックします

ファイルの選択

ファイルを選択するには、  
1.[参照]または[ファイルを選択]をクリックして、ファイルを選択します。  
2.次に、[決定]をクリックして、ファイルをアップロードします。

2

3

ファイルを選択 customize\_...plate.csv

決定

3

2

1

4

ここをクリックまたはファイルをドロップ

次へ

次へをクリックします

# 予算シートインポート⑤マッチングキーの指定

マッチングキーにチェックをつけ、データの処理の設定を行います。

予算シートインポート

ファイル添付 > マッピング確認 > データ登録方法設定 > シミュレーション設定 > シミュレーション実行 > インポート実行

### 2 データのマッチングに関する設定を行う

既存データとのマッチングに使用する項目を設定する ?

マッチングキー項目 (同一)  ID IDにチェックします

紐付型項目のマッチング設定をする **1**

**!** 赤色 で表示されている項目はマッチングキー項目です。

CSVファイル項目	ID	予算	社員名	予算日付	予算金額
インポート対象項目	ID	予算	社員名	予算日付	予算金額
サンプル1	1	予算	1	2020/4/1	10000000
サンプル2	1	予算	2	2020/4/1	10000000
サンプル3	1	予算	3	2020/4/1	10000000
サンプル4	1	予算	4	2020/4/1	10000000
サンプル5	1	予算	5	2020/4/1	10000000
サンプル6	1	予算	1	2020/5/1	10000000
サンプル7	1	予算	2	2020/5/1	10000000
サンプル8	1	予算	3	2020/5/1	10000000
サンプル9	1	予算	4	2020/5/1	10000000
サンプル10	1	予算	5	2020/5/1	10000000

戻る  **2** 次へをクリックします

データのインポート > データのインポート > 階層化メンテナンス > データメンテナンス状況確認

予算シートインポート

ファイル添付 > マッピング確認 > データ登録方法設定 > シミュレーション設定 > シミュレーション実行 > インポート実行

### 3 データを登録する際の処理を設定する

eセールスマネージャーRemix Cloudに登録されていないデータは  
 新規登録する  新規登録しない

eセールスマネージャーRemix Cloudに登録済みのデータは  
 上書きする  上書きしない  コピーとして作成する

**3** 「新規登録する」「上書きしない」を選択します

詳細設定を表示

戻る  **4** 次へをクリックします

# 予算シートインポート⑥インポート確認

シミュレーション設定画面が表示されるので、実行するかしないか選択を行います。インポートする件数が1000件を超える場合は、シミュレーションを行きましょう。通知先にメールアドレスを入力すると、シミュレーションもしくはインポート完了時に通知が入ります。

**1** シミュレーションを選択して「次へ」をクリックと、開始します  
完了後にメールでの通知を受信したい場合はメールアドレスを入力します  
シミュレーションの実行「する」を選択した場合、その後必ずインポートを実行して下さい

**2** ※インポート完了時にも通知します

**3** 次へをクリックします

**4** OKをクリックします

**5** インポート完了

acacia2.softbrain.co.jp の内容  
インポートを実行します。インポートを実行すると中断できません。よろしいですか。

未登録・未更新データに件数が表示された場合は、エラーになっています  
数字をクリックしてCSVをダウンロードし、エラー原因を確認しましょう

インポート完了  
処理レコード数 15 / 15  
インポート結果を全てダウンロード

登録・更新データ 15 件	
登録データ件数	15
更新データ件数	0
内コピーとして登録: 0	

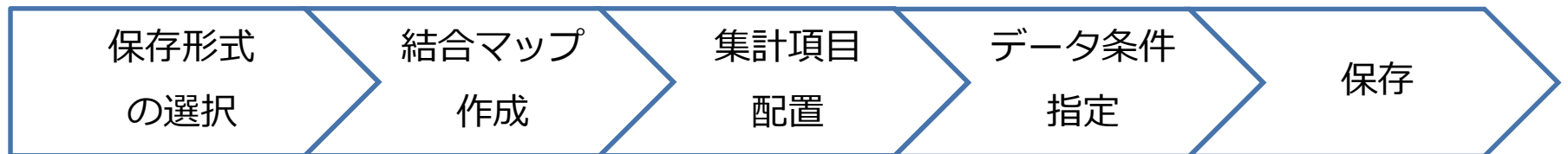
  

未登録・未更新データ 0 件	
マッチングキーが空白のため	0
新規データを登録しない設定のため	0
複数件マッチングしたため	0
登録済みデータを上書きしない設定のため	0
データが不正なため	0

続けてインポートする

# データソース作成

---



# データソース作成①

帳票やグラフを作成する前に、まずはデータソースを作成する必要があります。

システムメニュー

顧客 >

案件 >

名刺 >

活動 >

社員 >

商品 >

カレンダー >

データ分析 >

書類棚 >

タイムライン >

実績シート >

掲示板 >

データソース一覧

データ分析 グラフレポート データソース

カテゴリ新規作成 データソース新規作成 削除

カテゴリ・データソース名	説明	同期間隔	最終同期日	最終更新日	最終更新者	順序
No.1					管理者	
No.2					管理者	
No.3					管理者	
			2020-02-10 13:55	2020-02-10 13:55	管理者	
			2020-02-10 13:55	2020-02-10 13:55	管理者	
			2020-02-10 13:55	2020-02-10 13:55	管理者	
			2020-02-10 13:56	2020-02-10 13:56	管理者	
			2020-02-10 13:56	2020-02-10 13:56	管理者	

1 データソースをクリックします

2 データソース新規作成をクリックします  
\* カテゴリが作成されていない場合はデータソース新規作成が出てきません  
先にカテゴリ新規作成を行ってください  
カテゴリとは、フォルダのようなイメージです



## データソース作成② データソースの選択

データソースを作成するためにどこからデータを取得するか選択します。

### データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの保存

⚠ データソースで集計対象とするシート、結合マップ、およびデータソースを選択します。

**1** 結合マップ新規作成をクリックします

選択	名称	説明	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	シート選択				
<input type="checkbox"/>	結合マップ選択				
<input type="checkbox"/>	データソース選択				

データソースを作成するためにどこからデータを取得するかを選択します

### ・シート選択

一つのシートから帳票・グラフを作成したい場合に選択します

### ・結合マップ選択

複数のシートの情報を組み合わせて帳票・グラフを作成したい場合に選択します

★今回はシート選択ではなく結合マップを使用してデータソースを作成します

# データソース作成③ 結合マップの作成（顧客案件社員集計） 1

まずは、顧客案件社員集計の結合マップを作成します。  
複数のシートを結合して一つの結合マップを作成します。

**結合マップ新規作成**

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名  (日本語)  
他言語を表示

説明文

① 必要なシートをクリックして、左側の枠内にカーソルを移動します

② 水色の四角形が表示されたら、クリックして配置します  
\*ドラッグアンドドロップでは配置できません

③ 今回は、顧客、案件、社員を選択します  
それぞれ①と②を繰り返して配置します  
\*シート間の配置は距離を開けて配置してください  
距離を詰めて配置すると、結合が難しくなります

顧客	案件	案件商品情報 項目
活動	活動内容	活動商品情報 項目
商品	名刺	社員

顧客1      案件1      社員1

# データソース作成③ 結合マップの作成（顧客案件社員集計） 2

シート間を結合し、シート間の結合設定します。

**1** 結合をクリックします

**2** 結合させたいシート上にカーソルを移動させ、結合方向に□を出してクリックします

**3** もう一方のシートにカーソルを移動させ、結合方向に□を出してクリックします

**5** シート間の結合が全てつながるまで①～④を繰り返します

シートをどの項目で結合するか設定します  
基本的にデフォルトのままですべて設定完了で集計出来ます  
デフォルト項目以外で、結合したい場合は、別紙を参照してください  
【別紙参照】④シート間結合可能項目一覧

シート間結合設定

選択したシート間で結合する項目を選択して下さい。

シート	顧客 - 案件
外部結合	<input type="checkbox"/> 「顧客」を外部結合する <input type="checkbox"/> 「案件」を外部結合する
結合方向	<input checked="" type="radio"/> 顧客「顧客コード」と案件「顧客コード」 <input type="radio"/> 案件代理店 <input type="radio"/> その他の項目で結合する

**4** 設定完了

# データソース作成③ 結合マップの作成（顧客案件社員集計） 3

シートの結合が完了しましたら「結合マップ名」を記入し、登録します。

※既に作成されている結合マップと同一名称のものは登録できません。

エラーが表示されたら結合マップ名を変更して、登録を行ってください。

今回の例ではもう1つ結合マップを作成する為、再度「結合マップ新規作成」をクリックします。

結合マップ新規作成

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

1 結合マップ名 顧客案件社員集計 (日本語)

他言語を表示

説明文

結合

顧客1 案件1 社員1

顧客 案件 案件商品情報項目

データ分析

シート・結合マップ・データソースの選択

シート・結合マップ・データソースの選択 集計項目の設定 集計条件の設定 データソースの保存

▲ データソースで集計対象となるシート、結合マップ、およびデータソースを選択します。

3 結合マップ新規作成

「登録」をクリックします

「結合マップ新規作成」をクリックします

2 登録

選択	名称	操作	順序
<input type="checkbox"/>	シート選択		
<input type="checkbox"/>	結合マップ選択		
<input type="checkbox"/>	データソース選択		

次へ

# データソース作成④ 結合マップの作成（社員予算集計） 1

次に、社員予算集計の結合マップを作成します。  
複数のシートを結合して一つの結合マップを作成します。

**結合マップ新規作成**

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名  (日本語)  
他言語を表示

説明文

結合

水色の四角形が表示されたら、  
クリックして配置します  
\*ドラッグアンドドロップでは配置できません

必要なシートをクリックして、  
左側の枠内にカーソルを  
移動します

1

2

3

今回は、予算シート、社員を選択します  
それぞれ①と②を繰り返して配置します  
※シート間の配置は距離を開けて配置してください  
距離を詰めて配置すると、結合が難しくなります

顧客	案件	案件商品情報 項目
活動	活動内容	活動商品情報 項目
商品	名刺	社員

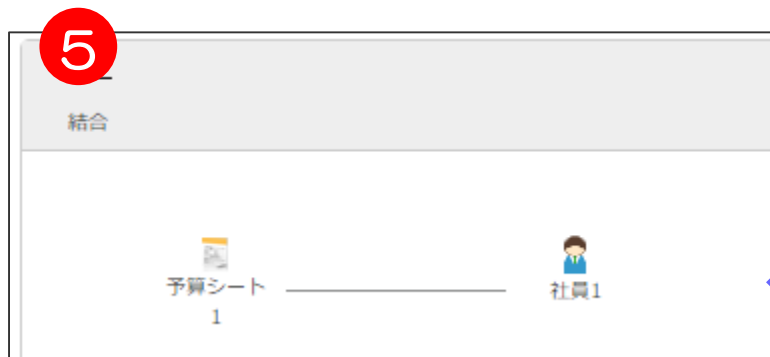
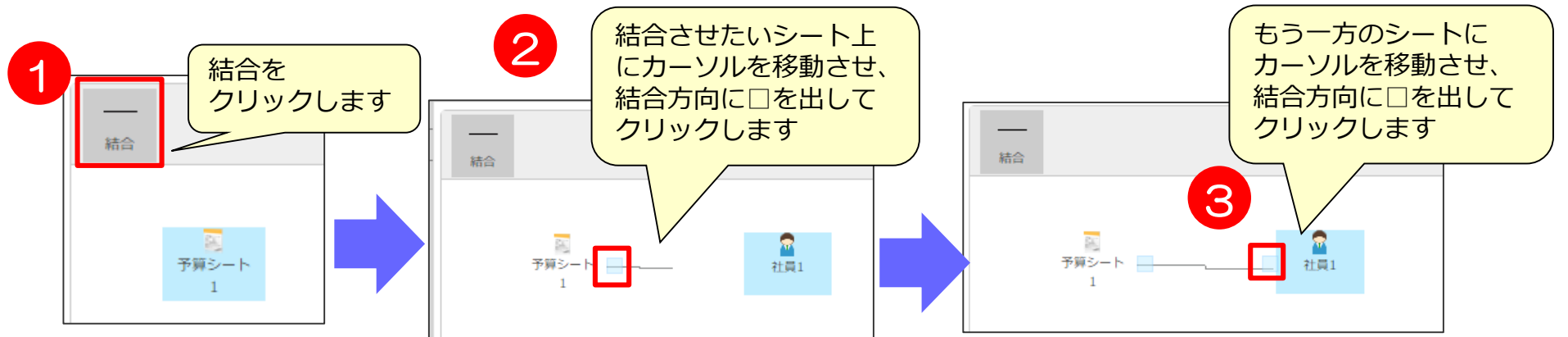
結合

予算シート  
1

社員1

# データソース作成④ 結合マップの作成（社員予算集計） 2

シート間を結合し、シート間の結合設定します。



シート間結合設定

⚠ 選択したシート間で結合する項目を選択して下さい。

シート	予算シート - 社員
外部結合	<input type="checkbox"/> 「外部結合する」にチェックをつけると、もう一方のシートに対応するレコードがない場合でも、チェックをつけたシートのレコードを出力することができます。
	<input type="checkbox"/> 「予算シート」を外部結合する <input type="checkbox"/> 「社員」を外部結合する
結合する項目	<input checked="" type="radio"/> 予算シート「社員名」と社員「予算シート」 <input type="radio"/> その他の項目で結合する

4 設定完了

シートをどの項目で結合するか設定します  
基本的にデフォルトのままですべて設定完了で集計出来ます  
デフォルト項目以外で、結合したい場合は、別紙を参照してください  
【別紙参照】④シート間結合可能項目一覧

## データソース作成④ 結合マップの作成（社員予算集計） 3

シートの結合が完了しましたら「結合マップ名」を記入し、登録します。

※既に作成されている結合マップと同一名称のものは登録できません。

エラーが表示されたら結合マップ名を変更して、登録を行ってください。

結合マップ新規作成

▲ シート追加メニューより結合したいシートまたはデータソースを追加し、結合マップを作成します。

結合マップ名 **1** 社員予算集計 (日本語)

他言語を表示

結合マップ名を記入します

説明文

結合

予算シート 1

社員1

「登録」をクリックします

**2** 登録

活動 活動内容 活動商品情報項目

商品 名刺 社員

部署 社員グループ スケジュール

受注 商品受注 売上

## データソース作成⑤ 結合マップの選択

新規作成した結合マップは、一番下に作成されますので、チェックをつけ選択します。

**データ分析**

シート・結合マップ・データソースの選択

選択	名称	説明	使用シート	操作	順序
<input type="checkbox"/>	C (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	C (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	D (達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	D (未達成)		顧客, 案件, 活動, 社員, 部署, 活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客実績		顧客, 実績シート	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客案件		顧客, 案件	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	顧客案件社員		顧客, 案件, 社員, 部署	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	案件活動		顧客, 案件, 活動, 活動内容, 社員, 部署	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	部署別活動		顧客, 社員	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	顧客案件社員集計		顧客, 案件, 社員	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	社員予算集計		社員	<input checked="" type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> コピー <input type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	データソース選択				

作成した結合マップにチェックします

1

「次へ」をクリックします

2

次へ



## データソース作成⑥ 集計項目の配置

帳票やグラフで必要となる項目を選択します。

◎ドリルダウンした際に見たい項目、抽出条件として設定したい項目全てを選択します。  
データソースの並び順は、一番左側に配置した項目の昇順で表示されます。

データ分析

集計項目の設定

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの

集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定  
▲ シートや結合マップを複数選択している場合は、シート名、結合マップ名、各列の項目の項目名と、シート、結合マップご

シートの隣の▼をクリックすると、各シートの項目を選択できます

この▼をクリックすると、チェックをつけた別の結合マップの項目が選択できます

顧客名	案件名	進捗状況	※1	受注 (予定)
顧客名	案件名	進捗状況	×	受注 (予定)

結合マップ「顧客案件社員集計」

- 顧客
- 顧客コード
- 顧客名
- 顧客名(かな/その他呼称)
- 郵便番号
- 住所
- 建物名

帳票・グラフ・出力の絞り込みに使用したい項目をクリックします  
項目の並び順はドラッグアンドドロップで変更できます

※必要な項目を選択し終わるまで①～④を繰り返します

戻る 次へ

※1表示項目名の変更はこちらのアイコン  より可能です。

## 【参考】この例で必要な項目と項目名変更

この例では以下のように項目を配置し、名称を変更する必要があります。

(結合マップ「顧客案件社員集計」)  
顧客より項目選択します

(結合マップ「顧客案件社員集計」)  
案件より項目選択します

顧客名	✕	案件名	✕	進捗状況	✕	日付	✕	金額	✕
顧客名	✕	案件名	✕	進捗状況	✕	受注(予定)日	✕	受注(予定)金額	✕
				予算	✕	予算日付	✕	予算金額	✕

社員氏名

(結合マップ「顧客案件社員集計」)  
社員より項目選択します

社員氏名	✕	社員コード	✕	顧客案件社員集計	✕
社員氏名	✕	社員コード	✕	社員予算集計	✕

(結合マップ「社員予算集計」)  
社員より項目選択します

デフォルト項目です

(結合マップ「社員予算集計」)  
予算シートより項目選択します

## 【参考】この例で必要な項目と項目名変更

この例では以下のように項目を配置し、名称の変更を行う必要があります。

今回の例では、  
「受注（予定）日」→「日付」  
「受注（予定）金額」→「金額」  
というように表示項目を変更します

顧客名	案件名	進捗状況	日付	金額
顧客名	案件名	進捗状況	受注（予定）日	受注（予定）金額
		予算	予算日付	予算金額

【項目名変更手順】 ※金額も同様に修正します。



# データソース作成⑦ データ条件指定 1

データソース上で絞り込むための条件を設定します。

結合マップで結合したシートの項目より、条件指定の選択が可能です。

集計件数が少ない方がシステム負荷が減るので、なるべく条件を絞るようにしてください。

データ分析

集計条件の設定

1 一覧表示項目を変更

シート・結合マップ・データソースの選択 集計項目の設定 集計条件の設定 データソースの保存

⚠ このデータソースにおいて集計するデータを絞り込むための条件を設定して下さい。

⚠ 集計条件は1項目も設定されていません。

戻る 次へ

データソース集計条件設定 項目設定

表示項目 一括で削除

項目一覧

- 顧客(顧客案件社員集計) 一括で追加
- 案件(顧客案件社員集計) 一括で追加
- 社員(顧客案件社員集計) 一括で追加
- 案件自社担当者(顧客案件社員集計) 一括で追加
- 予算シート(社員予算集計) 一括で追加
- 社員(社員予算集計) 一括で追加

結合マップに使用しているシートが項目一覧に表示されます

設定完了

## データソース作成⑦ データ条件指定2

今回の例では、進捗状況を絞ってデータを抽出を行っていきましょう。  
進捗状況を使用されていない環境では、活動内容を使用してください。

データソース集計条件設定 項目設定

表示項目 一括で削除

項目一覧

- 顧客(顧客案件社員集計)
- 案件(顧客案件社員集計)
- 社員(顧客案件社員集計)
- 案件自社担当者(顧客案件社員集計)
- 予算シート(社員予算集計) 一括で追加

ID 登録日

登録者 最終更新日

最終更新者 予算

予算日付 予算金額

社員(社員予算集計)

**2**

**3** 設定完了

「設定完了」をクリックします

今回は案件の「進捗状況」と予算シートの「予算」を集計条件設定に使用します  
項目一覧でクリックすると、自動でグレーアウトされ左側の表示項目へ追加されます

集計条件の設定

シート・結合マップ・データソースの選択 > 集計項目の設定 > 集計条件の設定 > データソースの保存

このデータソースにおいて集計するデータを絞り込む

**4** 進捗状況にチェックします

進捗状況(顧客案件社員集計)

<input checked="" type="checkbox"/> 未フォロー	<input checked="" type="checkbox"/> アボ設定中	<input checked="" type="checkbox"/> 初回訪問	<input checked="" type="checkbox"/> 案件化
<input checked="" type="checkbox"/> 提案済	<input checked="" type="checkbox"/> 内示	<input type="checkbox"/> 受注	<input type="checkbox"/> 受注後フォロー
<input type="checkbox"/> そのうち	<input type="checkbox"/> 失注	<input type="checkbox"/> 中断	<input type="checkbox"/> ..

検索オプション

NOT検索

予算(社員予算集計)

予算

検索オプション

NOT検索

**5** 条件を設定したら「次へ」をクリックします

戻る 次へ

※ご利用いただいている環境によって、設定されている案件の進捗状況は異なります。  
今回の例では「未フォロー」から「内示」の進捗状況を選択しております。

# データソース作成⑧ 保存

データソースを保存します。

※同期間隔を15分～1440分の間で設定可能になりました。

**1** シート・結合マップ・データソースの選択 集計項目の設定 集計条件の設定 **データソースの保存**

どのカテゴリに保存するか選択し、データソース名を記入します

データソース名と説明文を入力し、データソースを参照・参照編集できるユーザを設定してください。

カテゴリ: デフォルト

データソース名: 予算付案件集計用 (日本語)

他言語を表示

説明文

**2**

毎日1回の更新、またはある一定の時間での更新を選択できます

同期間隔

- 毎日(GMT+09:00)日本標準時(Asia/Tokyo)の 00 : 00 に同期処理を開始する
- 15 分おきに実行する
- 定時同期しない

参照権限

- 全員
- 社員を指定する

参照編集

「新規データソースとして保存」をクリックします

戻る 新規データソースとして保存

acacia2.softbrain.co.jp の内容  
データソースを設定した内容で保存します。よろしいですか?

**4** 「OK」をクリックします

OK キャンセル

acacia2.softbrain.co.jp の内容  
データソースの集計結果を表示しますか?  
(「キャンセル」をクリックすると、データソースの一覧を表示します)

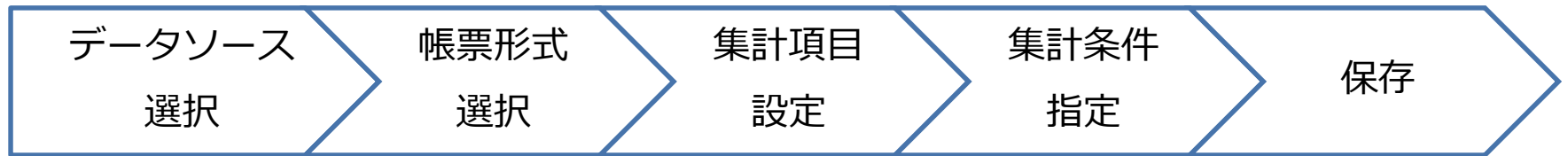
**5**

OK キャンセル

「キャンセル」をクリックします  
※集計結果を見たい場合は「OK」をクリックします  
その場合、結果が表示されるまで時間がかかります

# 帳票の作成

---



# 帳票の作成① 帳票形式選択

作成したデータソースを使用して帳票を作成します。データソースの選択と、帳票の形式の選択します。

**帳票新規作成をクリックします**  
\* カテゴリが作成されていない場合は帳票新規作成が出てきません  
先にカテゴリ新規作成を行ってください  
※ カテゴリとは画面上のフォルダアイコンを示します

**グラフレポートをクリックします**

**作成したデータソースを選択します**

**帳票の形式を選択します**  
・一覧表  
各シートの検索結果画面のように、項目を横に並べて表示させる形式です  
・クロス集計表  
Excelのピボット集計のように、項目を集計し表として集計を行う形式です  
\* グラフを作成できるのはクロス集計表のみです

**次へ**



## 帳票の作成② 集計項目設定

帳票を作成するための項目を、左側データソースの項目よりドラッグアンドドロップで配置します。

集計項目の設定

帳票の形式の選択 集計項目の設定 システム集計条件の設定 ユーザー集計条件の設定 帳票の保存 帳票の確認

⚠ 集計する項目を選択し、項目と値を表示する位置を設定して下さい。

2

配置する際は左下と右上の薄い灰色部分と右下の白い部分に項目を配置します

1

項目をドラッグアンドドロップで配置します

予算付案件集計用

- 顧客名
- 案件名
- 進捗状況
- 金額
- 社員氏名
- 社員ID
- 演算項目

戻る 次へ

# 帳票の作成③ 集計項目設定

それぞれ項目を配置した際に、項目設定画面出てきますので、指定したい表示単位を選択します。

右上の項目には「日付」を配置します  
\* 右上の項目には表示できる範囲に制限がかかっています  
日ごとに見る場合だと後の集計条件の設定にて絞り込む条件を短くする必要があります

日付項目を配置すると表示単位の選択画面が表示されます  
今回は「月」を選択し「設定完了」をクリックします

1

2

3

4

項目名	進捗状況		
データ型	セレクト		
小計・合計	<input type="checkbox"/> 小計を出力する <input type="checkbox"/> 合計を出力する		
選択肢演算作成			
N o.	表示	集計	選択肢名
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	選択なし
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	未フォロー
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	アポ設定中
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	初回訪問
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	案件化

項目名	数値
データ型	数値
集計方法	<input checked="" type="radio"/> 合計 <input type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 最大 <input type="radio"/> 最小 <input type="radio"/> 累計・昇順 <input type="radio"/> 累計・降順
縦軸	<input checked="" type="radio"/> 合計 <input type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 最大 <input type="radio"/> 最小
横軸	<input checked="" type="radio"/> 合計 <input type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 最大 <input type="radio"/> 最小
重なった箇所の優先順位	<input checked="" type="radio"/> 縦軸 <input type="radio"/> 横軸
演算	<input type="text"/>
表示単位	<input type="text"/>

進捗状況の絞り込みをせず「設定完了」をクリックします

集計値エリアは項目が集計されます  
今回は「合計」にチェックをつけ、「設定完了」をクリックします

# 帳票の作成④ 集計条件指定

この例では、ユーザー集計条件で日付によってデータを絞り込みます。  
◎ データソースで設定した項目(P33)より選択が可能です。

「一覧表示項目の変更」から集計条件の追加が可能です

**1** 作成する帳票の形式と、作成元となるデータソースを選択します。  
集計条件は1項目も設定されていません。  
今回はシステム集計条件は設定せず、「次へ」をクリックします

**2** 集計項目の選択にて、日付項目を右上に配置した場合、制限がかかるため期間条件を必ず設定する必要があります

**3** 社員コードを条件に指定すると、社員を選択式で選べるようになります  
※追加した項目は社員等設定せずに条件として保存することができます

**4** 条件項目設定後、「次へ」をクリックします

この帳票において集計するデータを絞り込むための条件を設定して下さい。  
システム集計条件において選択した選択肢のみを、ユーザー集計条件で指定できます。

日付  
● 期間指定 (年月日) ● 今日から○日前-○日後 ● 今日から○日前 ● 今日から○日後  
● 今日から○ヶ月前 (月初) -○ヶ月後 (月末) ● 今日から○年前 (期初) -○年後 (期末)

進捗状況  
全て選択 全て解除 選択反転  
☐ 選択なし ☐ 未フォロー ☐ アボ設定中 ☐ 初回訪問  
☐ 案件化 ☐ 提案済 ☐ 内示 ☐ 受注  
☐ 受注後フォロー ☐ そのうち ☐ 失注 ☐ 中断  
☐ -- ☐ 予算 ※複数進捗状況がある場合、システム集計条件で絞り込むことにより、ユーザー集計条件の表示は絞り込んだ進捗状況のみ表示されます。  
^ 検索オプション  
☐ NOT検索

社員コード  
☐ ログインユーザ  
ソフトブレン活用支援サイト  
ソフトブレン活用支援サイト  
※青文字：部署  
※黒文字：社員  
※その他の色付き文字：社員グループ

## 帳票の作成④ 【補足】集計条件指定

システム集計条件、ユーザ集計条件の違いは以下の通りです。

### ■ システム集計条件

- ◆ 管理者、作成者、編集権限保持者のみが設定できる条件です。
- ◆ 閲覧権限のみのユーザ側で条件を変更することはできません。
- ◆ 帳票閲覧時に、条件変更は誰でも不可。

### ■ ユーザー集計条件

- ◆ ユーザ側で帳票を確認する際に自由に変更できる条件です。
- ◆ 帳票閲覧時に「検索条件変更」より条件変更が可能です。
- ◆ 閲覧権限のあるユーザはどなたでも変更できる条件です。

# 帳票の作成⑤ 保存

条件を設定したら、「帳票名」を記入し保存します。  
保存前にプレビュー画面で確認が可能です。

**帳票の保存**

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > **帳票の保存** > 帳票の確認

⚠ 帳票名と説明文を入力し、ユーザが集計結果の絞り込みに使用できる検索項目を設定してください。  
※必須項目です

**1** 帳票名や参照・編集権限の付与設定を行います

データソースの同期処理が行われていないと「該当データはありません」と出てくる場合があります

カテゴリ: デフォルト

帳票名 ※ 進捗別受注金額 (予算比較) (日本語)  
他言語を表示

説明文

参照権限:  全員  社員を指定する  
役職で絞り込む:  全て選択  全て解除  選択反転  
 マネージャー  担当  インサイド

参照編集権限:  全員  
役職で絞り込む:  マネージャー  担当  インサイド

戻る 次へ

**2** 「次へ」をクリックすると帳票が確認出来ます

**3** 「新規登録」をクリックして、「OK」を選択すると帳票の作成および保存完了です

**4** OK キャンセル

進捗別受注金額 (予算比較)

帳票の形式の選択 > 集計項目の設定 > システム集計条件の設定 > ユーザー集計条件の設定 > 帳票の保存 > **帳票の確認**

日付: 今日から 6カ月前~0カ月後 検索条件変更

該当件数 13件 50件 表示

	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月	2020年3月
未フォロー	1,085,600						0
アパ設定中	1,220,400	1,350,000					0
初回訪問	0	6,829,600	12,980,000	17,426,400	0	0	0
案件化	0	885,600	0	0	0	0	0
提案済	0						0
内示	0						0
受注	0						0
受注後フォロー	0						0
そのうち	0						0
失注	0						0
中断	0						0

数値のドリルダウンは、保存後可能です

acacia2.softbrain.co.jp の内容  
帳票を設定した内容で公開します。よろしいですか?

戻る 新規登録

# グラフの作成

---

# グラフの作成① グラフ形式の選択

作成した帳票を使用してグラフを作成します。使用する帳票を選択し、グラフの形式を選択します。

**1** データ分析をクリックします

**2** グラフ新規作成をクリックします

**3** 使用する帳票を選択します

**4** 使用するグラフの形式を選択します  
\*今回は棒グラフを使用してご案内します

**5** 「次へ」をクリックします

システムメニュー

顧客

案件

名刺

活動

社員

商品

カレンダー

データ分析

書類棚

セールスマネージャー  
Remix

管理者 ヘルプ

データ分析 グラフレポート データソース

グラフレポート一覧

グラフ新規作成 削除

カテゴリ・帳票・グラフ

No.1

No.2

No.3

No.4

No.5

No.6

No.7

No.8

グラフの形式の選択

グラフの形式の選択 表示項目の設定 ユーザー集計条件の設定 グラフの保存 グラフの確認

作成するグラフの形式と、作成元となる帳票を選択してください

帳票

進捗別受注金額 (予算比較)

棒グラフ

折れ線グラフ

棒グラフ

折れ線グラフ

円グラフ

次へ

# グラフの作成② グラフ表示項目設定

グラフの表示項目の設定をします。

グラフ表示項目の設定

グラフの形式の選択 > **グラフ表示項目の設定** > ユーザー集計条件の設定 > グラフの保存 > グラフの確認

▲ グラフの系列、ラベルとして表示する項目を設定して下さい

値	予算金額 (集計方法: 合計)
積み上げ対象選択	<input checked="" type="checkbox"/> 棒グラフ <small>折れ線グラフ (※エリアチャートとして表示されます)</small>
軸の統一	<input type="checkbox"/> する

**1** 積み上げ対象選択の「棒グラフ」をチェックします  
\* 積み上げ対象とはグラフの横軸で同じものを積み上げて表示させます

ラベル

- 未フォロー
- アポ設定中
- 初回訪問
- 案件化
- 提案済
- 内示
- 受注

系列

【受注 (予定) 日】は出力する軸を絞れません

←反転→

**2** 「系列」と「ラベル」の並びが逆の場合「←反転→」で表示変更します

グラフ表示項目の設定

グラフの形式の選択 > **グラフ表示項目の設定** > ユーザー集計条件の設定 > グラフの保存 > グラフの確認

▲ グラフの系列、ラベルとして表示する項目を設定して下さい

値	予算金額 (集計方法: 合計)
積み上げ対象選択	<input checked="" type="checkbox"/> 棒グラフ <input type="checkbox"/> 折れ線グラフ (※エリアチャートとして表示されます)
軸の統一	<input type="checkbox"/> する

系列

<input checked="" type="checkbox"/> 未フォロー	棒グラフ	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> アポ設定中	棒グラフ	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 初回訪問	棒グラフ	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 案件化	棒グラフ	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 提案済	棒グラフ	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 内示	棒グラフ	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 受注	棒グラフ	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 受注後フォロー	棒グラフ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> --	棒グラフ	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 予算	折れ線グラフ	<input type="checkbox"/>

色をクリックすると、好きな色へ変更できます

ラベル

【受注 (予定) 日】は出力する軸を絞れません

←反転→

戻る 次へ

**3** 「予算」を「折れ線グラフ」に変更します

**4**



# グラフの作成③ 表示条件指定

グラフの条件を設定したい場合、抽出条件の設定をします。

ユーザー集計条件の設定

1 一覧表示項目を変更

「日付」は右上に配置したことにより制限がかかっているため条件を必ず設定する必要があります  
表示したい期間を入力します

「一覧表示項目の変更」から条件の追加が可能です

2

日付

期間指定 (年月日)     今日から○日前-○日後     今日から○日前     今日から○日後

今日から○ヶ月前 (月初) -○ヶ月後 (月末)     今日から○年前 (期初) -○年後 (期末)

今日から  ヶ月前 -  ヶ月後

案件名

▼ 検索オプション

社員コード

ログインユーザ

子部署も含む

<< 選択

削除 >>

ソフトブレン活用支援サイト ▼

ソフトブレン活用支援サイト

^ 検索オプション

※青文字：部署  
※黒文字：社員  
※その他の色付き文字：社員グループ

戻る 次へ

3

# グラフの作成④ 保存

設定した内容で、グラフを保存します。

凡例、グラフサイズ、ラベルの傾きも保存の際に設定します。

グラフの保存

グラフの形式の選択 > グラフ表示項目の設定 > ユーザー集計条件の設定 > **グラフの保存** > グラフの確認

▲ グラフ名と説明文を入力し、ユーザが集計結果の絞り込みに使用できる検索項目を設定してください。  
※必須項目です

1 **グラフの名称を設定します**

カテゴリ: [日本語] [英語] [中国語] [韓国語] [インドネシア語] [タイ語] [ベトナム語] [フィリピン語] [インド語] [ジャバネーズ語] [ヒンディー語] [タミル語] [カンダク語] [ウルドゥー語] [ペルシア語] [アラビア語] [ヒブライ語] [ヘブライ語] [ラテン語] [ギリシア語] [フランス語] [ドイツ語] [イタリア語] [スペイン語] [ポルトガル語] [ロシア語] [中国語] [韓国語] [インドネシア語] [タイ語] [ベトナム語] [フィリピン語] [インド語] [ジャバネーズ語] [ヒンディー語] [タミル語] [カンダク語] [ウルドゥー語] [ペルシア語] [アラビア語] [ヒブライ語] [ヘブライ語] [ラテン語] [ギリシア語] [フランス語] [ドイツ語] [イタリア語] [スペイン語] [ポルトガル語] [ロシア語]

2 \* 進捗別月ごとの受注金額 (予算線比較グラフ) (日本語)  
他言語を表示

凡例の表示位置の設定します  
\*グラフのそれぞれの色が何のデータが表示するものです

凡例の表示: 右

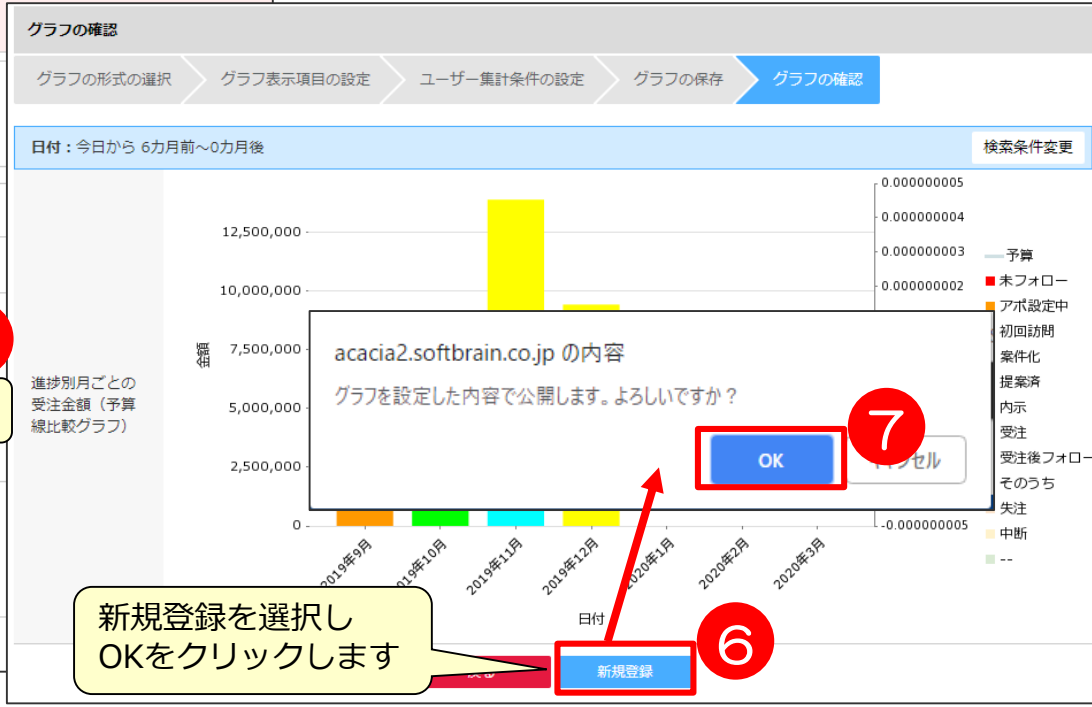
3 **グラフのサイズを設定します**

グラフサイズ: 横軸の幅: 800 縦軸の幅: 400

X軸ラベルの傾き: 45

4 **ラベルの傾きを設定します**  
\*横軸のグラフ名称がかぶらないように角度をつけます  
\*0 = 横、45 = 斜め、90 = 縦、で表示されます

戻る **次へ** 5

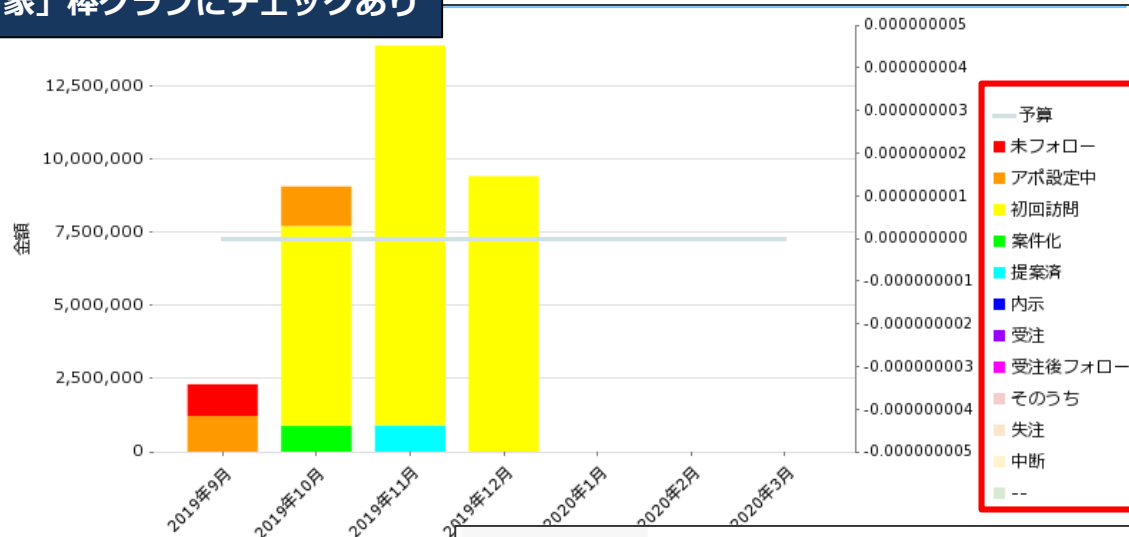


# 【参考】グラフの積み上げチェックによる見え方

P48で積み上げ対象の棒グラフにチェックをつけた場合の表示方法イメージです。

「積み上げ対象」棒グラフにチェックあり

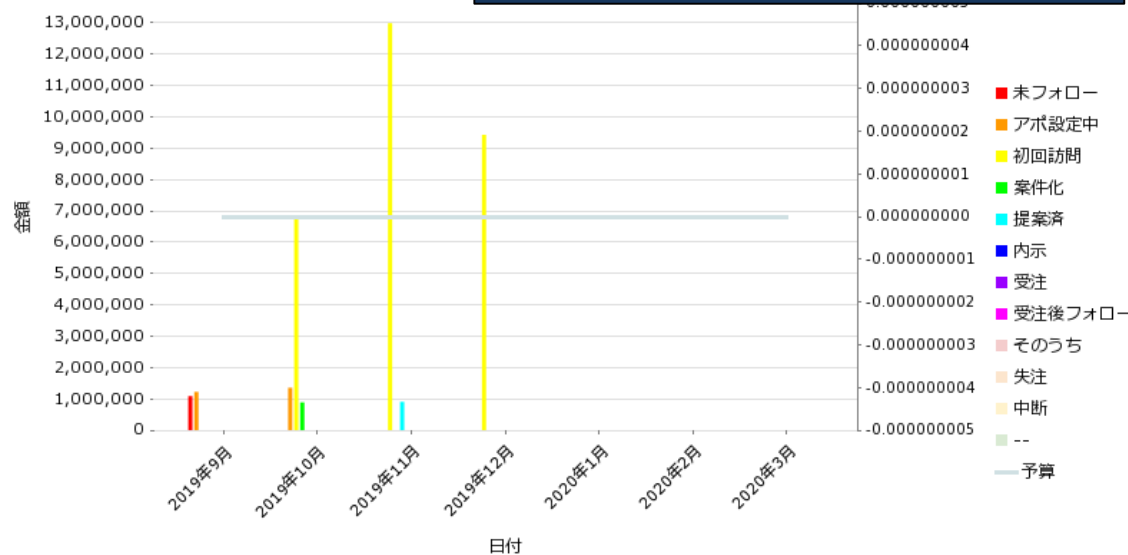
進捗別月ごとの  
受注金額（予算  
線比較グラフ）



「凡例の表示」にて  
設定した場所に出力されます

「積み上げ対象」棒グラフにチェックなし

進捗別月ごとの  
受注金額（予算  
線比較グラフ）



## 03 その他作成時の注意点

---

## システムに負荷をかけないために

- レポート機能は便利な機能ですが、誤って設定するとシステムに多大な負荷をかける恐れのある機能になりますので、設定時に以下の点にご注意ください。
  - ◆ POINT1 誤って設定しないよう、作成権限は必要最低限の方にのみ付与する
  - ◆ POINT2 データ同士の外部結合はなるべく避ける
  - ◆ POINT3 集計に必要なデータだけ集計する(なるべく抽出条件を設定しデータ量を絞る)
  - ◆ POINT4 データソースの項目数をむやみに増やさない
  - ◆ POINT5 データソースの構造はシンプルにする(不必要にユニオンしない)
  - ◆ POINT6 クロス集計表にて、むやみに「小計」「合計」を表示しない
  - ◆ POINT7 クロス集計表にて、むやみに項目をたくさん配置しない
  - ◆ POINT8 データソースの同期間隔の時間設定を一律にしない  
(毎日1回なら時間をずらし、データが多い場合は15分おき実行は避ける)
- ◆ 詳細は、「【管理者マニュアル】グラフレポート編」をご確認ください

# クロス集計表の集計項目について

クロス集計表の集計項目について、配置可能な項目、制限事項のご案内をします。

- 【設置可能な項目】
- ・数値型
  - ・小数型
  - ・日付型
  - ・セレクト型
  - ・チェックボックス型
  - ・文字型(1個まで)
- ※横に項目を並べることはできません



- 【設置可能な項目】
- ・数値型
  - ・小数型
  - ・日付型
  - ・セレクト型
  - ・チェックボックス型
  - ・文字型
- ※縦に項目を並べることはできません

- 集計値に用いる項目は4つまで配置できます  
タテ並び、ヨコ並びどちらかの配置が可能です
- 【集計可能な項目】
- ・文字型
  - ・数値型
  - ・小数型
  - ・日付型
  - ・演算型
- ※演算結果はドリルダウンできません

# 【参考】項目タイプごとの配置による条件一覧

項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定	項目タイプ	列ラベル配置時の設定	値配置時の設定
数値型 小数型 演算型	<p>【表示範囲】 任意の範囲を一つの要素として出力することができます</p> <p>【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	<p>【集計方法】 合計 平均 最大 最小 累計・昇順 累計・降順 【小計・合計】 小計と合計を出力できます 【演算】 出力結果に対して四則演算ができます 【表示単位】 任意の表示単位を指定できます</p>	日付型 日時型	<p>【表示単位】 年 年度 半期帯 半期 四半期帯 四半期 月帯 月 日帯 日 時間帯（日時型のみ） 時間（日時型のみ） 年-半期-四半期-月(右上のみ) 年-半期-四半期(右上のみ) 年-半期-月(右上のみ) 年-半期(右上のみ)</p>	<p>【集計方法】 最大の日時 最小の日時</p> <p>【日付フォーマット】 ユーザの日付フォーマット 任意の日付フォーマット</p>
文字型 文章型	<p>※文章型は配置できません</p> <p>【表示順】 ソートなし 昇順 降順 組織構成順 (部署名・社員氏名のみ)</p>	<p>【集計方法】 件数 軒数 件数 累計・昇順 件数 累計・降順 軒数 累計・昇順 軒数 累計・降順 (※文字が入力されているもののみカウントされます)</p> <p>【小計・合計】 (※出力結果の行に対してのみ) 小計と合計を出力できます</p>	グラフレポート演算型	配置できません	<p>【演算式】 他の値項目の出力結果や定数値を使った演算式を入力します ※日付型、日時型項目は式に含められません</p> <p>【小数点以下の桁数】 出力する小数点以下の桁数を設定できます</p>
セレクト型 チェックボックス型	<p>※【各選択肢への設定】 表示順序 表示/非表示 合計・小計の対象とするか否か</p> <p>※【選択肢演算の追加】 他の選択肢の出力結果や定数値を使った演算式、その表示形式を設定できます</p>	配置できません	◎制限事項 横方向への小計・合計と累計（昇順・降順）は同時に設定することはできません。 小計・合計の出力設定は値に配置した項目間で共有されます。 小計・合計を出力できる項目と出来ない項目を両方配置した場合、小計・合計は出力されなくなります。 グラフレポート演算型項目は、演算式に含めた他の値項目が削除された場合、同時に削除されます。		

## 【参考】項目のソートについて

◎以下の項目でソートする場合は、名称ではなく内部コードの順でソートされるため注意してください。

シート名	項目名	項目タイプ
顧客	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	親顧客	文字（親顧客）
	親顧客 1～5	文字（親顧客）
案件	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
案件 商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
活動	登録者	文字（社員コード）
	最終更新者	文字（社員コード）
	報告者	文字（社員コード）
	承認者	文字（社員コード）

シート名	項目名	項目タイプ
活動商品情報項目	商品コード	文字（商品コード）
商品シート	カテゴリ 1～10	文字（商品コード）
社員シート	部署名	文字（部署コード）
部署	所属部署コード	文字（部署コード）
	社員コード	文字（社員コード）
スケジュール	登録者部署コード	文字（部署コード）

※内部コードとは、eセールスマネージャーで自動で採番される、一意のコードとなります。



## 【参考】-日付項目配置時の表示単位と表示期間の説明-

表示単位	表示される期間の説明
年	西暦で表示します。 表示例：2015
年度	4月1日から翌年の3月31日までを4月1日時点の西暦で表示します。 表示例：2018
半期帯	西暦関係なく4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で表示します。 表示例：1、2
半期	4月~9月を上半期、10月~3月を下半期で西暦ごとに表示します。 表示例：1、2
四半期帯	西暦関係なく4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
四半期	4月~6月、7月~9月、10月~12月、1月~3月として表示します。 表示例：1、2、3、4
月帯	西暦関係なく1月~12月を1カ月毎で表示します。 表示例：1~12
月	1月~12月の1カ月毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1、2018-2、2018-3、2018-4
日帯	西暦、月関係なく1日~31日を1日毎表示す。 表示例：1~31
日	1月1日~12月31日の1日毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1、2018-1-2
時間帯	西暦、月、日関係なく0時~23時を1時間ごとに表示します。 表示例：0~23
時	0時~23時の1時間毎を西暦毎に表示します。 表示例：2018-1-1-0~2018-1-1-23
年-半期-四半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎、月毎で表示します。
年-半期-四半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎、四半期毎で表示します。
年-半期-月	ラベルを上から西暦毎、半期毎、月毎で表示します。
年-半期	ラベルを上から西暦毎、半期毎で表示します。

# 【参考】 -日付項目「期首月」「年度の設定」 - ※管理者ログインでのみ設定可能です。

グラフレポートで表示される「期首月」「年度」を変更したい場合、カレンダー設定の変更にて設定変更が可能です。※デフォルトの期首月は4月になっています。

検索

ホーム

シートの一覧と拡張

自社の設定

部署・社員のメンテナンス

社員項目の変更

カレンダー設定の変更

自社商品のメンテナンス

商品項目の変更

コラボレーションの設定

顧客の設定

営業プロセスの設定

アウトプットの設定

その他機能の設定

システムの設定

管理者 ヘルプ

カレンダー設定の変更

カレンダー設定

月間行動予定

### 期首月設定

データ分析機能で使用する期首月を設定します。

期首月 1 月

年度の開始  暦年と同じ  暦年の前年  
例：2020年度は2020年1月に開始

設定完了

### 休日設定

休日パターン 標準設定 iCalから追加

2020-03

月	火	水	木	金	土
休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	休日設定	勤務日設定
勤務日 2	勤務日 3	勤務日 4	勤務日 5	勤務日 6	通常休日 7
勤務日 9	勤務日 10	勤務日 11	勤務日 12	勤務日 13	通常休日 14

## 【参考】 帳票の作成-集計値の表示単位-

表示単位	説明
件数	重複したレコードがあっても、まとめずに1件ずつカウントします。
件数 累計・昇順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
件数 累計・降順	重複したレコードをまとめずに1件ずつカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録シート数を減算していくことで集計します。
軒数	重複したレコードがあれば、まとめて1件としてカウントします。
軒数 累計・昇順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計開始日時より登録されている情報を集計終了日時に向かって累計していくことで集計します。
軒数 累計・降順	重複したレコードをまとめて1件とカウントし、集計対象期間での登録情報数から集計終了日時に向かって登録情報数を減算していくことで集計します。

### 集計表示のイメージ

件数	件数 累計・昇順	件数 累計・降順	軒数	軒数 累計・昇順	軒数 累計・降順
訪問日 社員	クレーム 社員	プロセス 社員	訪問日 社員	クレーム 社員	プロセス 社員
単純に件数を 集計したい場合 (例)活動コード	積み重なった数字が 必要とされる集計を 行いたい場合 (例)活動コード	進捗率のパイプ ライン管理など (例)活動コード	活動案件数として 集計を行いたい場合 (例)案件コード	積み重なった数字が 必要とされる集計を 行いたい場合 (例)活動コード	進捗率のパイプ ライン管理など (例)活動コード

# 特殊検索項目について

「社員」や「部署」を組織ツリーからの選択式にしたい場合は、それぞれ「社員コード」「部署コード」をデータソース作成時(P33参照)に選択し、帳票集計条件設定の際に(P43参照)、項目を配置いただく必要がございます。

<p>選択ボックス② (社員)</p>		<p>社員コード配置時の 検索項目配置図</p>
<p>選択ボックス② (部署)</p>		<p>部署コード配置時の 検索項目配置図</p>

# 活用支援サイトのご紹介

**eセールスマネージャーの操作説明/動画、活用事例等、業務に有効な情報集めてあります。是非、チェックしてください！**

 セールスマネージャー  
活用支援サイト

[サイトマップ](#) [よくある質問](#) [問い合わせ](#)

キーワードから探す  [検索](#) [詳細検索](#)

 お知らせ

- 2022/06/27 活用支援サイトTOPページの一部リニューアルのお知らせ [NEW](#) >
- 2022/06/21 新規のユーザーセミナー動画を公開致しました。 [NEW](#) >
- 2022/06/16 2022年7月ユーザーセミナー・研修のお知らせ [NEW](#) >
- 2022/06/15 活用支援サイト「サイトマップ」公開のお知らせ [NEW](#) >
- 2022/06/15 バッチ連携モジュール更新のお知らせ（2022/6/15 追記） [NEW](#) >

[▶ 一覧を見る](#)

 利用開始に向けて  動画一覧  セミナー  操作マニュアル

[▶ PDF版の操作マニュアルを見る](#)

eセールスマネージャーの機能・操作のお困りごと

ログイン・パスワード

ログインできない  
パスワードを忘れてしまった

<https://www.e-sales-success.jp/guide/remix/web/index.html>

で検索下さい！

